

個性と能力を発揮し、誰もが輝くために
 知っておきたいキーワード……………①

【ジェンダー・バイアス】

「男性だから」「女性だから」こうあるべき？
 可能性を狭めたり、自由を奪う思い込みに気を付けよう

「女の子だからお手伝いしなさい」とか「男らしく決めろよ!」と言われることはありませんか。男子だってお手伝いした方がいいし、女子がピシッと決める場面も多いのに…。このような男女の役割についての固定的な観念や偏見を、「ジェンダー・バイアス」といいます。

バイアスとは、先入観や偏見といった意味です。ジェンダーは、生物学的な性別(sex)に対して社会的・文化的に作られてきた性差を指します。「男性だから」「女性だから」という前提で「あるべき姿」として考えら

れているものです。服装や髪形、言葉遣い、家庭や職場での役割、職業選択などに影響し、感情や考え方、コミュニケーションの仕方にも反映されます。

多くの人たちが、それと気付かずにそのまま持っていることが多い「ジェンダー・バイアス」。生まれ育った環境で「当たり前」に見聞きし、体験してきたため、疑問を持つことが少なかったのかもしれませんが。

しかし、「ジェンダー・バイアス」が自分自身の可能性を狭めたり、「ジェ



えっ! 日本って156カ国中
120位?!
 世界経済フォーラムが2021年3月に発表した男女の格差を測る「ジェンダー・ギャップ指数(GGI)」の日本の順位です。「教育」「健康」の分野は高いのに「政治」「経済」の分野がとて低く、世界に大きく遅れています。これを変えていきましょう!

「ジェンダー・バイアス」による無意識の発言や行動が誰かの気持ちを傷つけた、自由を奪ったりすることも起きます。

「どうして女子だからという理由でこれができないの?」「男子ばかりがなぜ求められるのだろう?」など疑問に思ったら、尋ねてみましょう。理由に納得できればいいですが、もしかしたら習慣的にそうなっただけのことかもしれません。皆さんの疑問から、社会が変わっていくかもしれませんよ。

こんな場面に遭遇したこと、体験したことはありませんか?

熊本市男女共同参画センターはあもにい発行
 「はあもにい通信」88号「男と女の△劇場」
 (画/ブンノ絵巳)から

